SAP Business Network（旧Ariba Network）は、本資料では「SBN」と記載します。

No	分類	質問	回答	資料名・リンク	ページ数等
1	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	SBNを利用するNTTグループ向け新調達システムを導入しているバイヤー企業は何社か。	NTTグループの約100社が利用しています。なお、NTTデータグループおよびその傘下会社は対象外です。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.2
2	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	NTTグループ向け新調達システムを利用するバイヤー企業はどこか。	新調達システムのWebサイトに掲載の「NTTグループ向け新調達システム 利用会社（予定含む）」をご確認ください。	NTTグループ向け新調達システム利用会社（予定含む）	-
3	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	ANIDは部署単位で登録できるか。	できません。 ANIDは会社単位で登録し、1法人につき1つのみ利用できます。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.10
4	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	ANIDは複数登録できるか。	複数登録はできますが、NTTグループ向け新調達システムで利用できるANIDは1法人につき1つのみです。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.10
5	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	ANIDの登録申請先はどこか。	ANIDの登録申請は取引先のNTTグループ会社が行います。詳細は取引先のNTTグループ会社へご相談ください。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.11
6	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	スタンダードアカウント（SA）とエンタープライズアカウント（EA）のどちらで登録すべきか。	NTTグループでは、サプライヤ様が使用するアカウントの種類を指定しています。登録するアカウント種別は、取引先のNTTグループ会社へご確認ください。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.11
7	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	既にANIDを取得している場合でも、NTTグループ向けに別のANIDが必要か。	既存のANIDは利用できますが、利用するアカウント種別の確認が必要なため、取引先のNTTグループ会社へご相談ください。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.12
8	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	NTTグループ向け新調達システム用に登録したEAアカウントを他社との取引にも利用した場合、費用は発生するか。	他社との取引で利用した場合は、利用状況に応じてSAPから費用が請求される可能性があります。なお、その費用はNTTグループでは負担できません。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.11
9	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	既存のANIDで登録済みのユーザー名・メールアドレスを、新規ANIDでも登録可能か。	メールアドレスは使用できます。ユーザー名は同じものを使用できないため、識別子として数字やアルファベットを追加して登録してください。 【例】 ＜既存ANID＞ ・ユーザー名：ariba@mail.com ・メールアドレス：ariba@mail.com ＜新規ANID＞ ・ユーザー名：1ariba@mail.com ・メールアドレス：ariba@mail.com	–	–
10	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	SBNの利用契約は、SAP社とNTT ExCパートナーのどちらと締結するのか。	SAP社と締結します。 ANIDの登録時に、利用条件に同意していただきます。	–	–
11	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	DUNSナンバー登録時に「このDUNSナンバーは登録されています」と表示される場合、どのように対応すればよいか。	DUNSナンバーは1つのANIDにのみ登録できます。すでに別のANIDに登録されている場合は、このメッセージが表示されます。DUNSナンバーは任意項目のため、空欄のままで問題ありません。	スタンダードアカウント登録ガイド（SAP配布資料）	P.8
12	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	SAPから証明書更新のお知らせメールが届いた場合、ユーザー側で対応は必要か。	社内のシステム担当者へ確認し、必要に応じて対応してください。メール内容に関する質問はSAPへお問い合わせください。	–	–
13	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	1つのANIDに登録できるユーザー数の上限は何人か。	1つのANIDにつき、最大2,000名までユーザーを登録できます。	–	–
14	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	SBNを利用するにはどのような手続きが必要か。	SBNを利用するには、アカウント管理者によるユーザー登録が必要です。利用する方は、アカウント管理者へユーザー作成と権限付与を依頼してください。	サプライヤ様向けSBNご説明（SAP配布資料）	P.19
15	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	サプライヤ指定のセキュリティチェックシートへの記入は可能か。	セキュリティ関連の確認には、SAP社のWebサイトに掲載されている情報をご利用ください。サプライヤ様ご自身での確認をお願いします。 ＜URL＞ ・SAP Trust Center（https://www.sap.com/japan/about/trust-center.html） ・SAPのコンプライアンスオファリング（https://www.sap.com/japan/about/trust-center/certification-compliance.html） 本サイトには、SAP社が提供するクラウドサービス、セキュリティ、プライバシー、コンプライアンスに関する情報が掲載されています。	–	–
16	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	SBNに登録した情報は、取引当事者以外も閲覧できるのか。	原則として、登録情報を閲覧できるのは取引当事者（バイヤーとサプライヤ）のみです。ただし、不具合調査のためSAP Aribaのサポート担当者がアクセスする場合があります。	–	–
17	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	SBNを利用するために、許可が必要なURL・ドメインを教えてほしい。	ブラウザでアクセス制限を設定している場合は、SAP社が公開している許可対象のドメイン一覧をご確認ください。 ＜URL＞ https://support.ariba.com/item/view/KB0588301_ja 本サイトには、SBN利用時にブラウザ設定で許可を推奨するドメインおよびサブドメインの一覧が参考資料として掲載されています。	–	–
18	はじめに （お取引き開始前の手続きなど）	受注時の業務はどのような流れで進むのか。	受注時の主な流れは、①オーダー確認、②出荷通知（注文書の種類が「物品」の場合のみ）、③請求登録、④検収通知の確認です。	NTTグループ向け新調達システムの概要	P.5
19	登録手続き関連	SBN登録時、データセンターはどれを選択するのか。	データセンターは必ず「米国：Quincy, WA」を選択してください。	スタンダードアカウント登録ガイド（SAP配布資料）	P.7
20	登録手続き関連	SBN登録情報はNTTグループ各社に共有されるのか。	SBNの登録状況は、新調達システムに参加しているNTTグループ各社で共有されます。ただし、SBNに登録するだけですべてのNTTグループ会社と取引できるわけではありません。取引できるのは、仕入先情報が登録されている会社に限られます。	–	–
21	登録手続き関連	口座情報の変更・追加方法は何か。	口座情報はバイヤー企業で管理しています。変更・追加する場合は、取引先のバイヤー担当者へご連絡ください。	–	–
22	登録手続き関連	自社のBPコードはどこで確認できるか。	BPコードはバイヤー側で管理しています。取引先のバイヤー担当者へご確認ください。	–	–
23	インボイス制度対応について	インボイス制度対応のために、SBNで登録が必要な情報はあるか。	はい。SBNの会社プロファイルに「適格請求書発行事業者登録番号」を登録してください。	インボイス制度対応について	P.3

SAP Business Network（旧Ariba Network）は、本資料では「SBN」と記載します。

No	分類	質問	回答	資料名・リンク	ページ数等
24	インボイス制度対応について	「適格請求書発行事業者登録番号」をSBNの会社プロファイルに登録しないとどうなるのか。	「適格請求書発行事業者登録番号」が未登録の場合は、SBNで発行された請求書に登録番号が反映されず、適格請求書の要件を満たしません。 登録番号を会社プロファイルに登録すると、請求書作成時に自動で反映されるようになります。		
25	インボイス制度対応について	SBNのみで電子帳簿保存法に対応できるか。	NTTグループとして、SBNのみで電子帳簿保存法の要件を満たせるかについては判断していません。SBNの提供機能をご確認のうえ、自社の運用を含めて対応方法をご検討ください。	–	–
26	インボイス制度対応について	請求書を7年間（84か月）保存するにはどうすればよいか。	文書保存設定で保存期間を指定することで、請求書の保存期間を7年間（84か月）に延長できます。	文書保存設定について	P.5
27	インボイス制度対応について	請求金額の消費税額が事前報告額と1円異なる場合の対応方法は何か。	SBNでは小数点以下を切り捨てて消費税額を計算するため、1円の差額が発生する場合があります。差額の修正はできませんので、取引先のバイヤー担当者へご相談ください。	–	–
28	インボイス制度対応について	内税の請求書で消費税額が「0円」と表示される場合、インボイス制度上問題ないか。	SBNでは、内税の場合に税額を表示できません。インボイス制度に対応するためには、別途、適格請求書をPDF等で発行していただく必要があります。 請求登録時にPDF等を添付してください。バイヤー側では、検収時に当該PDF等をシステムに添付して保管します。	–	–
29	各種お取引について （オーダー確認について）	操作している画面がどちらのバージョン（Gen1／NextGen）か分からないため、見分け方を知りたい。	ホーム画面のデザインで判断できます。 詳細は、右記URLから「サプライヤ様向けマニュアル」をご参照ください。	https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/select.html	–
30	各種お取引について （オーダー確認について）	ホーム画面の操作項目のタイルを設定するにはどうすればよいか。	「ワークベンチの設定方法」をご覧ください。	オーダー確認について	P.6
31	各種お取引について （オーダー確認について）	契約や請求に関する通知メールを受信するにはどうすればよいか。	通知メールの設定は、アカウント管理者が行います。アカウント管理者にご相談ください。	オーダー確認について	P.15
32	各種お取引について （オーダー確認について）	契約途中で契約内容が変更になった場合はどうすればよいか。	契約内容の変更が発生した場合は、変更内容を反映した注文書がバイヤーから発行されるため、その注文書を確認してください。	オーダー確認について	P.30
33	各種お取引について （オーダー確認について）	注文書の発行元バイヤー企業を確認するにはどうすればよいか。	SBNの注文書画面に表示されている「出荷先」欄から確認できます。	オーダー確認について	P.26
34	各種お取引について （オーダー確認について）	オーダー確認日の修正はできるか。	いいえ、オーダー確認日の修正はできません。誤って確認した場合は、取引先のバイヤー担当者へご相談ください。 ※オーダー確認画面の「提出」を押下した日がオーダー確認日となります。	–	–
35	各種お取引について （オーダー確認について）	注文書が表示されない場合はどうすればよいか。	NTTグループ向け新調達システムで使用しているANIDとは異なるANIDでログインしている可能性があります。現在ログインしているANIDをご確認ください。	–	–
36	各種お取引について （オーダー確認について）	注文書を検索するにはどうすればよいか。	「オーダー確認について」をご覧ください。	オーダー確認について	P.23
37	各種お取引について （オーダー確認について）	過去の注文書を検索するにはどうすればよいか。	「オーダー却下および確認の実施手順」をご確認ください。	オーダー確認について	P.16
38	各種お取引について （オーダー確認について）	オーダー確認済みにもかかわらずバイヤー側で確認できない場合、注文書の状況はどこで確認できるか。	サポートデスクでは、注文書や請求書の状況を確認できません。バイヤー担当者に、バイヤー側のお問い合わせ窓口へ確認していただくようご依頼ください。	–	–
39	各種お取引について （オーダー確認について）	オーダー確認後に注文内容を修正できるか。	オーダー確認後の内容修正はできません。取引先のバイヤー担当者へ連絡し、変更後の注文書を発行してもらってください。	オーダー確認について	P.30
40	各種お取引について （オーダー確認について）	出荷通知の配達日を誤って登録した場合、修正できるか。	出荷通知の配達日は修正できません。取引先のバイヤー担当者へご相談ください。	–	–
41	各種お取引について （オーダー確認について）	注文の処理状況を確認する方法を教えてください。	オーダー一覧の「オーダー状況」をご確認ください。	オーダー確認について	P.18
42	各種お取引について （オーダー確認について）	請求書ステータス「送信済み」と「承認済み」の違いは何ですか。	現行マニュアルにおける請求書の各ステータスの説明は、以下のとおりです。 ・「送信済み」：請求書に対し、バイヤーが承認または却下を行っていない状態です。 ・「承認済み」：請求書に対し、バイヤーが承認した後、指定した検収日を過ぎた状態です。	請求書登録について	P.22
43	各種お取引について （請求登録について）	「請求書の作成」ボタンがグレーアウトして請求書を作成できない原因は何か。	オーダー確認が完了していない可能性があります。オーダー確認後に、再度請求書を作成してください。	–	–
44	各種お取引について （請求登録について）	注文書に「請求書を作成」ボタンが表示されない原因は何か。	請求書作成の権限が付与されていない可能性があります。アカウント管理者へ権限設定をご依頼ください。	–	–
45	各種お取引について （請求登録について）	請求書一覧に対象の請求書が表示されない場合はどうするか。	請求書一覧の「フィルタ調整」をご確認ください。「請求日」が「本日 -30 / +0 日間」に設定されている場合は、対象の請求日を確認し、表示期間を変更してください。	請求書登録について	P.21
46	各種お取引について （請求登録について）	以前使用した請求書番号を入力できないのはなぜか。	過去に使用した請求書番号を使用することはできません。	–	–
47	各種お取引について （請求登録について）	税カテゴリの選択方法について教えてください。	「請求書登録について」をご覧ください。	請求書登録について	P.16
48	各種お取引について （請求登録について）	提出済みの請求書は修正できるか。	提出後の請求書は、サプライヤ側では修正・削除できません。 修正が必要な場合は、バイヤー担当者へ請求書の却下を依頼し、却下後に再度請求登録してください。	請求書登録について	P.19
49	各種お取引について （請求登録について）	請求書提出後に添付資料を追加できるか。	請求書提出後は、サプライヤ側で資料を添付できません。 資料の添付が必要な場合は、バイヤー担当者へ請求書の却下を依頼し、却下後に再度請求登録してください。	–	–
50	各種お取引について （請求登録について）	請求日は何日前までさかのぼって登録できるか。	請求日は、31日前から29日後までの範囲で登録できます。	–	–
51	各種お取引について （請求登録について）	請求登録で明細を追加できるか。	NTTグループ向け新調達システムでは、サプライヤ様側で明細を追加しない運用としています。 明細の追加が必要な場合は、取引先のバイヤー担当者へご相談ください。	–	–
52	各種お取引について （請求登録について）	請求登録で0円の請求はできるか。	いいえ。SBNでは請求金額を0円で登録できません。 費用が発生しなかった場合の対応は、取引先のバイヤー担当者へご相談ください。	–	–

SAP Business Network（旧Ariba Network）は、本資料では「SBN」と記載します。

No	分類	質問	回答	資料名・リンク	ページ数等
53	各種お取引について （検収通知について）	検収結果はどこで確認できるか。	取引内容によって確認方法が異なります。 物品：検収完了通知メールは送信されません。検収承認後にSBN上で表示される受領書を確認してください。 役務：バイヤーの検収完了後に届く検収完了通知メールで確認できます。	検収通知について	P.11
54	各種お取引について （検収通知について）	検収日の修正はできるか。	いいえ。サプライヤ側で検収日を修正することはできません。 修正が必要な場合は、取引先のバイヤー担当者へご依頼ください。	–	–
55	各種お取引について （検収通知について）	どのような場合に自動検収となるか。	注文書の「支払条件・検収条件」が「3_毎月支払（固定額）・初回検収のみ」に設定されている場合、初回検収後は自動検収となります。	–	–
56	登録情報の変更について	会社の統合・廃止時に必要な手続きは何か。	取引先のNTTグループ会社へご連絡ください。 統合・廃止の内容に応じて、必要な手続きをご案内します。	–	–
57	登録情報の変更について	アカウント管理者を変更できるか。	変更可能です。 「管理者情報の変更方法について」をご参照のうえ、手続きを行ってください。	エンタープライズアカウント登録ガイド（SAP配布資料）	P.36
58	その他	アカウント管理者を確認するにはどうすればよいか。	SBNにログイン後、アカウント管理者の連絡先を確認できます。確認方法は、「アカウント管理者の連絡先確認方法について」をご参照ください。	アカウント管理者の連絡先確認方法について	P.2
59	その他	SBN利用開始後、既存の契約や取引条件はどうなるか。	SBN利用開始後も、契約内容や取引条件は、サプライヤ様と取引先のNTTグループ会社との間で締結している個別契約に基づきます。	–	–
60	その他	NTTグループ各社とすでに締結している基本契約や購買契約の改訂予定はあるか。	現時点では、更新や修正を行う予定はありません。 SBNの利用条件を前提としたうえで、基本契約および個別契約がそれぞれ適用されます。 詳細は、取引先のNTTグループ会社へご確認ください。	–	–
61	その他	電子契約サービス利用時に、守秘義務契約などの別途契約は必要か。	必要かどうかは、取引先のNTTグループ会社との協議事項です。 取引先のNTTグループ会社へご確認ください。	–	–
62	その他	電子契約サービス利用時もSBNの利用は必要か。	原則として、すべての取引でSBNを利用します。 ただし、建設業法対象工事などでは、契約手続きのみ電子契約サービスを利用する場合があります。	オーダー確認について	P.10
63	その他	SBNのデータをダウンロードできるか。	はい。注文情報はWEB-EDIからダウンロードできます。 SBNはcXMLを基本としたシステムのため、主にcXML形式でダウンロードできます。（ダウンロード方法は、「オーダー確認について」の「5.オーダー却下および確認の実施手順」内の「2.オーダー確認の実施手順」をご覧ください。）	オーダー確認について	P.26